

令和3年度 学校生活相談センターの相談状況について(11月末現在)

心の支援課

◆件数・回数の同期比較◆

	前年度 R2年度11月末		本年度 R3年度11月末	
相談件数	589件	→	568件	(21件 減)
延べ回数	888回	→	881回	(7回 減)

1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	242	42.6%	334	37.9%
	夜間・休日	238	41.9%	414	47.0%
文書 (メール・FAX・手紙)	88	15.5%	133	15.1%	
来所	0	0.0%	0	0.0%	
計	568	100.0%	881	100.0%	

2 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	213	37.5%	378	42.9%
女	242	42.6%	358	40.6%
不明	113	19.9%	145	16.5%
計	568	100.0%	881	100.0%

3 相談者の内訳

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども	181	31.9%	268	30.4%
本人	179	31.5%	266	30.2%
本人以外の子ども	2	0.4%	2	0.2%
大人	359	63.2%	573	65.0%
父	66	11.6%	104	11.8%
母	224	39.4%	384	43.6%
祖父	4	0.7%	8	0.9%
祖母	14	2.5%	15	1.7%
その他の大人	51	9.0%	62	7.0%
不明	28	4.9%	40	4.6%
計	568	100.0%	881	100.0%

4 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
就学前	7	1.2%	8	0.9%
小学生	126	22.2%	193	21.9%
中学生	143	25.2%	253	28.7%
高校生	195	34.3%	302	34.3%
その他	58	10.2%	72	8.2%
不明	39	6.9%	53	6.0%
計	568	100.0%	881	100.0%

5 相談の主訴 ※相談者の立場が不明（分類不可）だった相談を除く

(1) 子どもからの相談

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	17	9.4%	19	7.1%
	不登校・登校渋り	8	4.4%	14	5.2%
	暴力問題	0	0.0%	0	0.0%
	異性関係・性の問題	7	3.9%	12	4.5%
	対人関係・友達関係	28	15.5%	41	15.3%
	非行・不良行為	1	0.6%	1	0.4%
	心身の疾患・障がい	6	3.3%	12	4.5%
	学業・進路	11	6.1%	23	8.6%
	自分関連(性格など)	27	14.9%	37	13.8%
	インターネット・ゲーム関連	0	0.0%	0	0.0%
学校・教師に関すること	39	21.5%	56	20.9%	
家庭・私生活に関すること	21	11.6%	28	10.4%	
意見・問い合わせ	6	3.3%	8	3.0%	
その他	10	5.5%	17	6.3%	
計	181	100.0%	268	100.0%	

(2) 大人からの相談

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	37	10.3%	50	8.7%
	不登校・登校渋り	60	16.7%	92	16.1%
	暴力問題	0	0.0%	1	0.2%
	異性関係・性の問題	2	0.6%	7	1.2%
	対人関係・友達関係	23	6.4%	41	7.2%
	非行・不良行為	2	0.6%	2	0.3%
	心身の疾患・障がい	9	2.5%	15	2.6%
	学業・進路	9	2.5%	12	2.1%
	自分関連(性格など)	1	0.3%	1	0.2%
	インターネット・ゲーム関連	4	1.1%	5	0.9%
学校・教師に関すること	113	31.5%	164	28.6%	
家庭・私生活に関すること	37	10.3%	101	17.6%	
意見・問い合わせ	44	12.2%	53	9.2%	
その他	18	5.0%	29	5.1%	
計	359	100.0%	573	100.0%	

6 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
関係機関へ連携した案件	53	9.3%	73	8.3%

主な連携先(延べ回数)

小中学校(私立含む)	… 24回	警察関係	… 1回
高等学校(私立含む)	… 24回	児童相談所	… 1回
県教育委員会(教育事務所含む)	… 18回	こども・家庭課	… 4回
市町村教育委員会	… 10回	私学振興課	… 1回

結果の概要

- ・本年度11月末時点での相談件数は568件、延べ回数は881回で前年度と比較してやや減少している。
- ・子どもからの相談では、「学校・教師に関すること」が最も多く、ついで「対人関係・友達関係」「自分関連(性格)など」が多い。
- ・大人からの相談では、「学校・教師に関すること」が圧倒的に多く、次いで「不登校・登校渋り」が多い。

《11月の特徴》

- ・相談件数55件、延べ回数93回で、7月に次いで今年度2番目に少なくなっている。(7月は相談件数53件、延べ回数90回)
- ・特に、母親からの相談及び高校生に関する相談が少なかった。